

交通需要マネジメントの今後の進め方



1. 2025年大阪・関西万博におけるTDMの取組

- 2025年4月13日から10月13日まで開催された大阪・関西万博においてもTDMを実施
- 混雑時期において、混雑区間（鉄道・道路）における交通混雑回避行動への協力を呼びかけ

- 削減目標値 〔鉄道〕混雑率120%の達成(メトロ中央線)
〔道路〕渋滞長が通常時の最大を超えない(阪神高速)

■メニュー

移動量・配送量を削減	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークの実施 ・会議をオンラインで実施 ・共同配送などによる移動量や配送量の削減
混雑する時間帯・時期を回避	<ul style="list-style-type: none"> ・時差出勤やフレックスタイムの実施 ・納品時間の変更による混雑時間帯の回避 ・宅配便・社内便など定期的な発送の調整
交通混雑を避けた場所・ルートへ変更	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤ルート・交通手段の変更 ・サテライトオフィスの活用 ・混雑場所・ルートの回避

■TDMパートナー登録制度

一般交通の抑制や分散、平準化にご協力いただく企業の皆様をTDMパートナーとして登録する制度を実施

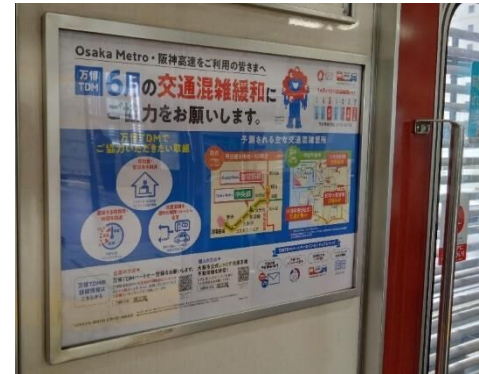


大阪・関西万博TDMパートナー

登録すると、交通混雑予測情報等をメールマガジンで受け取れるほか、各種インセンティブを用意

■企業等への呼びかけ

- ・企業に対し説明会や個別訪問等を実施
- ・鉄道(駅構内・車両内デジサイ等)、道路(横断幕等)、公共施設(ポスター)、Web、タレントを活用したTVCM(会期終盤)等で広報実施



車両内広告(ドア横)



道路横断幕



Web広告 (Instagram)

■TDMトライアルの実施

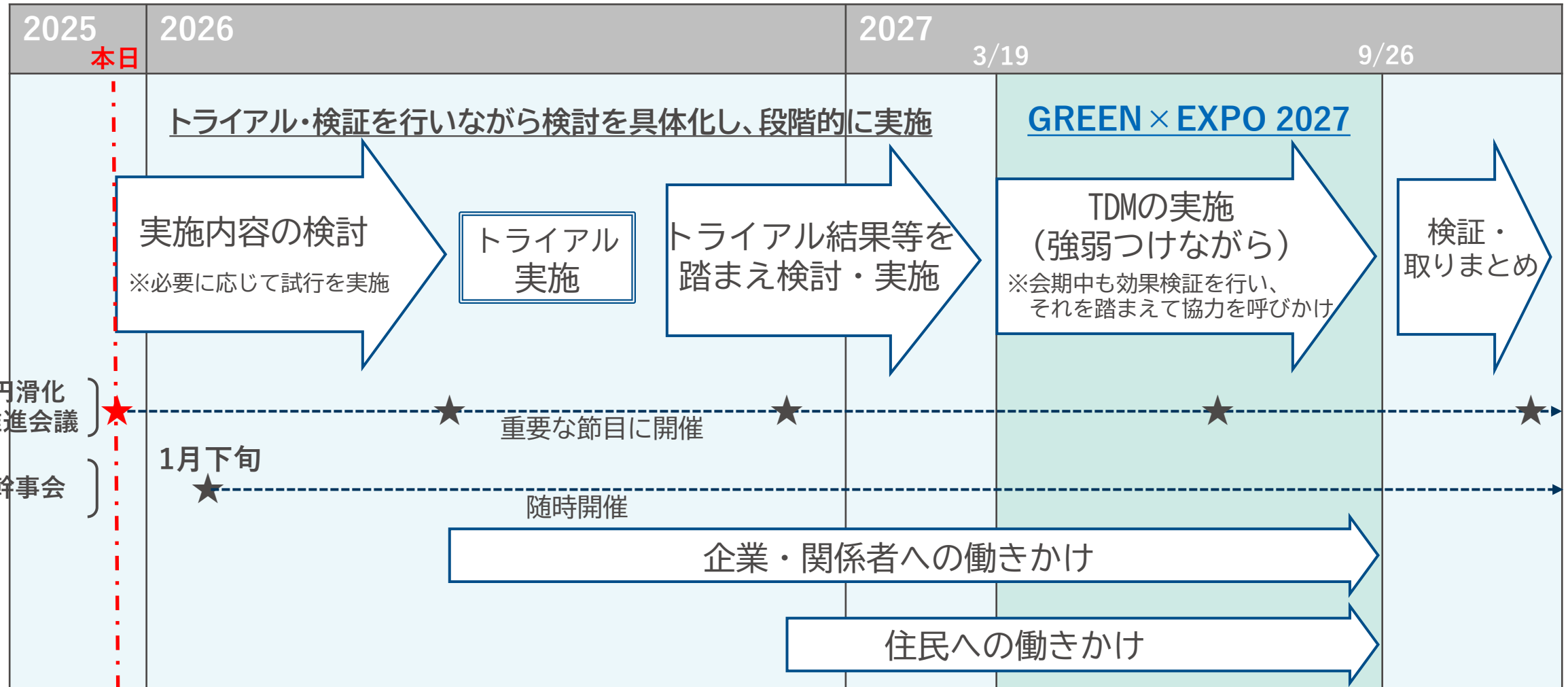
企業等のTDMへの参加促進及び課題の把握や、交通量低減におけるTDMの有意性の確認等を目的に、最も来場者が集中すると予測される会期末の約1年前にTDMトライアルを実施



トライアルポスター

2. 今後の進め方（案）

- GREEN×EXPO 2027の開幕に向けて、取組内容の検討を進め、段階的に実施
- 幹事会を設置し、削減目標値や取組メニューなど、具体的な内容について議論
- 協会が設置している輸送対策協議会とも連携しながら、検討の進捗状況に合わせ、重要な節目に本会議を開催





EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN